

1分で読みとくアメリカ

読得
目ミトク

No.16

スマホの普及がもたらすビジネスチャンス

今や日常生活に欠かせないツールとなったスマートフォン。矢野経済研究所のレポートによると、スマートフォンの世界出荷台数は2013年に10億台を超えました。それ以降は、年平均約15%の成長が期待されており、2018年には20億台を突破する見通しです。その背景には、中国やインド、東南アジアなどアジア地域での市場拡大があります。同地域におけるスマートフォンユーザーは2013年には述べ10億人規模となっており、今後もさらなる増加が見込まれています。このことはIT先進国である米国にとって、ビジネスチャンスの拡大につながりそうです。

市場拡大の恩恵を受けている分野の一つが、FacebookやTwitterなどのSNS産業です。Google社が世界48カ国を対象に実施した調査によると、スマートフォンユーザーによるSNSの普及率*は、2013年に約73%に達しています。例えば世界最大のユーザー数を誇るFacebookの年次報告書によると、全世界での1日あたりの平均利用者数が2013年12月末時点で約7.6億人となり、2010年同期と比べると、約2.3倍に成長したとのことです。

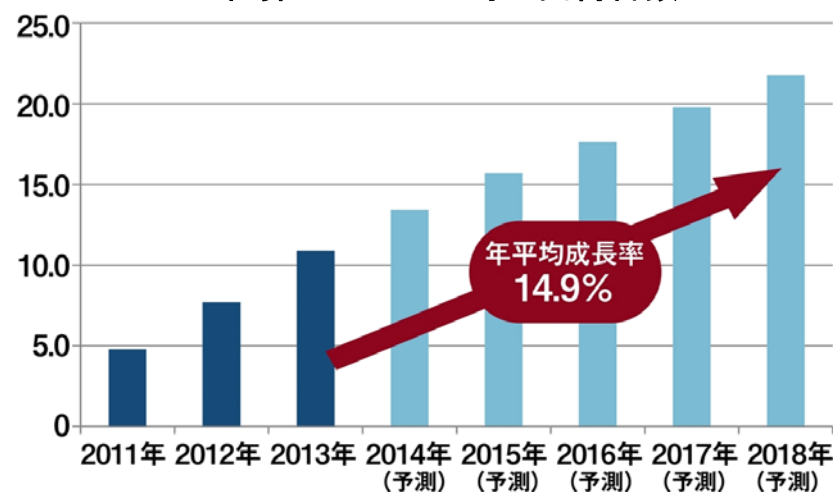
スマートフォンの普及は、オンラインショッピング市場の拡大にもつながっています。オンラインショッピング市場は今後5年間で二桁の伸びが予測されており、特にモバイル経由の成長が市場をけん引すると考えられています。読得アメリカNo.12でもお伝えしたように、米国では年末商戦でオンラインでの売上げが加速するなど、消費スタイルが大きく変わりつつあります。

スマートフォンの普及はデバイスそのものだけでなく、人々の消費活動にも大きな影響を与えており、米国のIT産業のさらなる成長にも期待が集まっています。

*世界48カ国のスマートフォンユーザーの内、週に1回はスマートフォンでSNSを利用すると回答した人数。

(単位: 億台)

世界のスマートフォン出荷台数



(出所) 矢野経済研究所 「スマートフォン・タブレットの世界市場に関する調査結果」(2014年3月14日発表) 2014年3月時点の予測

世界のオンラインショッピング市場の伸び予想 (単位: %)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
オンライン	16.1	15.6	14.8	13.7	12.6
モバイル経由	54.3	45.9	39.1	24.4	21.3

(出所) GSAM 2014年3月時点の予測

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧誘するものではありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(I)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(II)再配布することを禁じます。

<審査番号: 126432.OTHER.MED.OTU> © 2014 Goldman Sachs. All rights reserved.



Asset
Management